お申込みについて

「映画『女性の休日』をみてはなそう。これからの働き方・暮らし方を自分たちの言葉で描き直す」のみ、事前申込制（※先着 50 名）となっております。

※上記以外のイベントは、申込み不要です。

お申込みはオンラインフォーム、メール、電話、FAXで受け付けています。

申込開始：2026 年 10 月 1 日～

申込締切：2026 年 12 月 4 日（金）18:00

※先着順にて、定員に達し次第受付を終了します。

フォームの方

二次元コードか URL より申込フォームにアクセスしてください。
https://forms.gle/TcVaPW36T69Zp26E7

お申込み こちらから

メール、お電話、FAX の方

以下の宛先に、氏名（フリガナ）／電話番号／メールアドレス／映画上映会参加の旨をお知らせください。
また、必要なサポートがございましたら、お気軽にご相談ください。

＊メール：tfa@precog-jp.net　＊電話：03-3528-9713　＊FAX：03-3528-9720

会場について



←至 中軽井沢駅

場　所：軽井沢町中央公民館　大講堂
〒389-0111
長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2353-1
駐車場：中央公民館の駐車場をお使いください。

ご案内

＊当日は記録撮影があります。映り込み不可の方は当日受付にてお申し出ください。

＊ご自身でのお申込みが難しい方はご相談ください。

＊途中で休憩したい方には休憩スペースをご用意しています。入退場自由です。

運営事務局　株式会社 precog（プリコグ）　https://precog-jp.net/
〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358 番地 小磯大竹ビル 202
Tel: 03-3528-9713（営業時間 10:00～17:00）　Email: info@precog-jp.net

主催：軽井沢町



12月6日(日)12:00~18:20

全プログラム
参加無料

場 所　軽井沢町 中央公民館

キッズスペース / 休憩スペース
手話通訳
日本語字幕付き映画上映

詳細は こちら

みんなのみらいFESTA は、ジェンダー平等を入り口に、家族のこと、働き方のこと、自分らしい生き方のことを考える1日限りのイベントです。この町で暮らすわたしたち一人ひとりが、これからを考えるヒントを、映画鑑賞やゲストスピーカーによるトーク、参加者同士のゆるやかな対話を通して見つけていきます。会場には、子どもも大人も楽しめる世界の絵本、ジェンダーや自分らしい生き方をテーマにした本が並ぶライブラリーもオープン。映画を観たり、本を読んだり、おしゃべりをしたり、思い思いの時間を過ごすことができます。
ご家族やお友達と、ご一緒に。もちろん、お一人での参加も大歓迎。

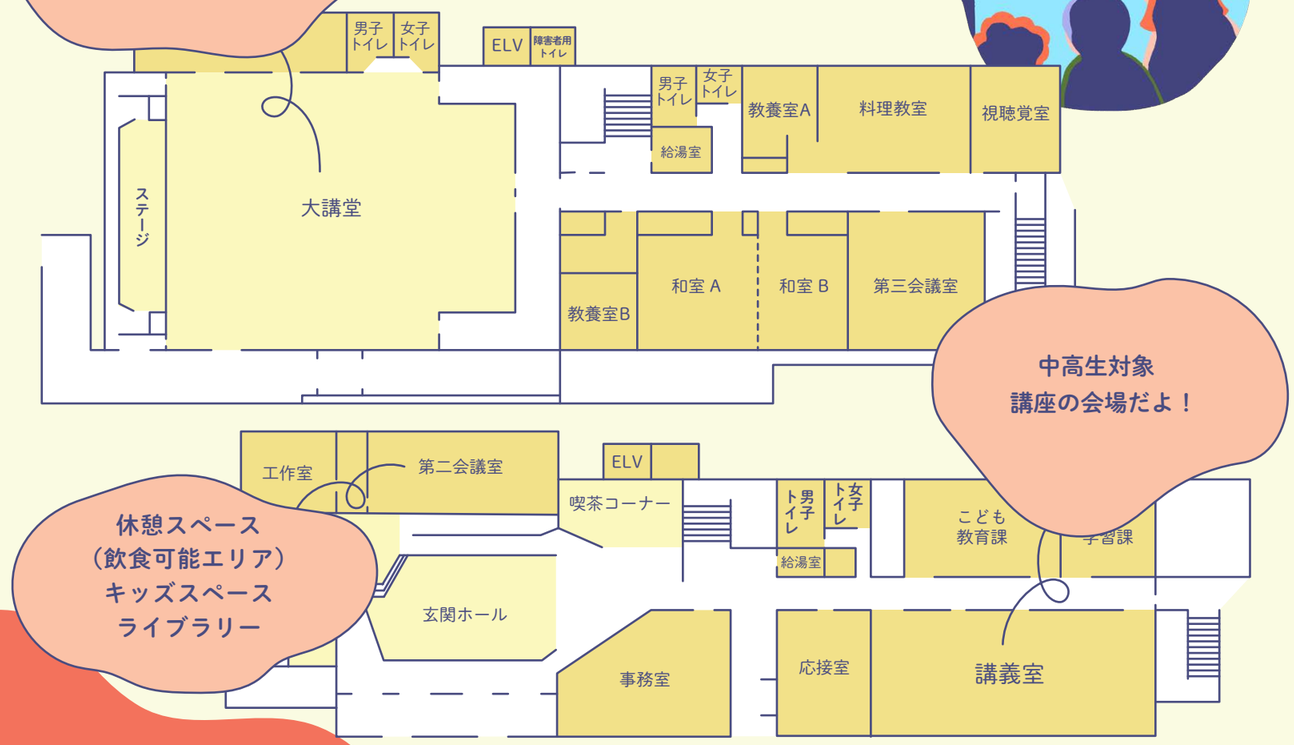
みんなのみらいFESTA

時間	2階 大講堂（メイン会場）	講義室	第２会議室
12:00~	開　　場		
12:30~13:00	オープニングトーク 軽井沢町長（土屋三千夫）		休憩スペース キッズスペース ライブラリー などが常時オープン！ 誰でも利用できます。
13:10~15:00	映画『女性の休日』をみてはなそう。 これからの働き方・暮らし方を 自分たちの言葉で描き直す		
15:15~16:15	心理学者 × 哲学者 × 企業人トーク 「男性も生きづらい？これからの ジェンダー平等」	中高生対象 特別講座 中野円佳先生と考える 「これからの家族、自分らしい生き方」	
16:30~18:20	うえだ子どもシネマクラブ プロデュース映画上映 『パーフェクト・ノーマル・ファミリー』 ～10代の視点から、多様な 「ふつう」を考える～		





メイン会場！
映画の上映やトークがあるよ
１日楽しもう！



中高生対象
講座の会場だよ！

休憩スペース
（飲食可能エリア）
キッズスペース
ライブラリー

プログラム紹介

12:30〜13:00 オープニングトーク　軽井沢町長（土屋 三千夫）

フェスタのはじまりに、町長による開会のあいさつとともに、ゲストのみなさんをご紹介します。

ファミリーサポートセンターは、会員制の有償ボランティア組織です。子どもの預かり、送迎をお願いできる地域の登録会員の方をお繋ぎします。

13:10 ~ 15:00 軽井沢町ファミリーサポートセンターコラボ企画 映画『女性の休日』をみてはなそう。これからの働き方・暮らし方を自分たちの言葉で描き直す

要予約

アイスランドで女性の90%が一斉に家事も仕事も休んだ、伝説の1日「女性の休日」。活動家だけでなく、ごく普通の女性たちが声を上げたこの出来事は、社会を大きく動かし、今も多くの人に勇気を与え続けています。映画を入り口に、子育てや仕事、家庭との向き合い方など、それぞれの経験や思いを持ち寄りながら、男女共同参画や「わたしたちらしい生き方」について一緒に考えます。

先着50名事前申込みはこちら



小安美和
株式会社Will Lab（ウィルラボ）代表取締役
日本経済新聞社などを経て、2013年リクルートジョブズ執行役員。2017年に株式会社Will Labを設立し、全国でジェンダーギャップ解消に向けた改革・人材育成に取り組む。



竹内真紀子
軽井沢町社会福祉協議会非常勤職員
にじいろじかん軽井沢主宰
メーカー営業から自身の出産を機に地域での子育て支援に携わる。包括的性教育（自分らしく生きるための心・体・人間関係等を学ぶ教育）の授業や講演活動などに取り組んでいる。



(c)2024 Other Noises and Krumma Films.

15:15 ~ 16:15 心理学者 × 哲学者 × 企業人トーク「男性も生きづらい？これからのジェンダー平等」

申込み不要

男性育休や仕事と家庭の両立、職場で感じるプレッシャーや「こうあるべき」という役割意識。男性の生きづらさをめぐるさまざまな経験やエピソードを手がかりに、ジェンダーをめぐる社会のあり方について考えます。男性の心理的支援に取り組む臨床心理士、企業の元人事部長、そして哲学者。それぞれの立場から、働き方や家族、社会の中にある「こうあるべき」という価値観について語り合います。男性に限らず、ジェンダーや働き方、生き方について考えてみたい方に開かれた、1 時間のトークです。



濱田 智崇
京都橋大学准教授／臨床心理学
日本初の男性専用相談窓口を開設して以来30年にわたって、男性の生きづらさに寄り添ってきた。子育て中の男性が語り合う「パパカフェ」も各地で実施。



横山 政司
株式会社オリエンタルランドツーリズム事業部長
企業で人事・マーケティングを担当しながら、副業でワークショップデザイナー・キャリアコンサルタントとしてキャリア支援に従事。



渡辺 パコ
組織・人材開発コンサルタント/講師/哲学者
デジタルハリウッド大学名誉教授。著書累計40万部超。哲学と対話を軸に、生き方・働き方を見つめ直す研修を各地で実施。共生を暮らしの中で実践中。

15:15 ~ 16:15 中高生対象特別講座 東京大学 中野円佳先生と考える「これからの家族、自分らしい生き方」

申込み不要

昔のCM に描かれていた家族像と、今の私たちが見る家族の姿はどう変わってきたのでしょうか。「自分らしく生きるってどういうこと？」「どんな家族や社会で暮らしていきたい？」身近な映像を入り口に、参加者同士で対話しながら、これからの時代の生き方を一緒に考える時間です。



中野 円佳
東京大学多様性包摂共創センター
准教授、博士（教育学）
東京大学教育学部卒業後、日本経済新聞社を経て2015年よりフリージャーナリスト。『「育休世代」のジレンマ』出版。厚労省・経産省の検討会委員等を歴任し、2024年より東京大学にて現職。

16:30 ~ 18:20 うえだ子どもシネマクラブ プロデュース映画上映 『パーフェクト・ノーマル・ファミリー』

申込み不要

1990 年代のデンマークを舞台に、父親が女性として生きることを選んだ家族の変化を、10代の娘エマの視点から描いたヒューマンドラマです。両親の離婚をきっかけに、父親トマスの選択を知ったエマ。戸惑いや葛藤を抱えながら、家族のかたちや「ふつう」とは何かに向き合っていきます。監督マルー・ライマン自身の経験をもとに描かれた本作を通して、性別や家族のあり方、自分らしく生きることについて、それぞれの思いを持ち寄りながら一緒に考えます。



直井 恵
草の根文化芸術コーディネーター
NPO法人上田映劇
国際協力NGO勤務を経て映画館の人へ。上田映劇の再起動に関わり、現在は学校に行きづらい子どもたちの新たな居場所と学びの場として映画館を活用する「うえだ子どもシネマクラブ」を担当。



© 2019 NORDISK FILM PRODUCTION A/S